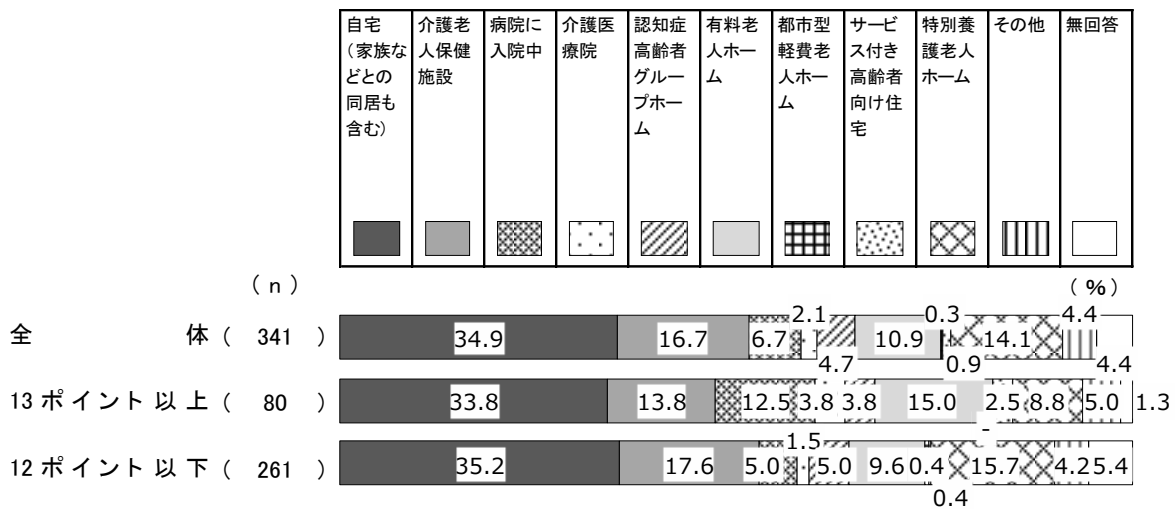


## 11. 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

### (1) 現在の生活場所

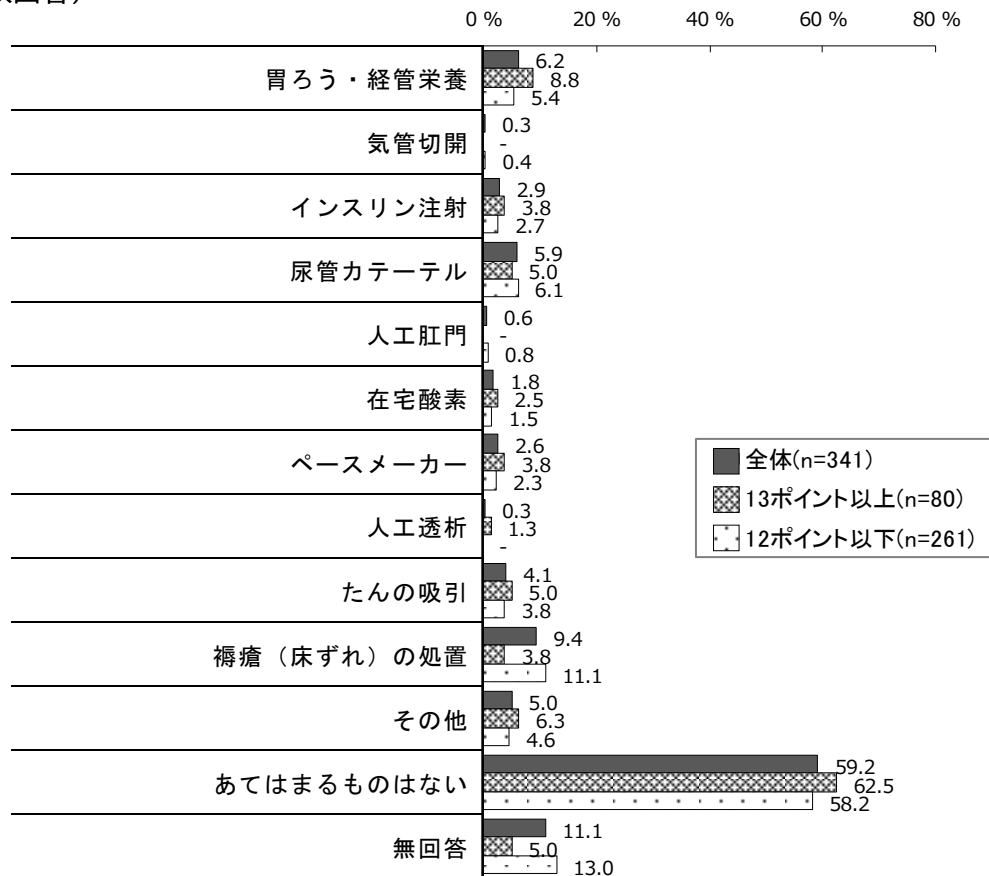
- 特養入所申込者の全体では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（34.9%）が最も高く、次いで「介護老人保健施設」（16.7%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（33.8%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム」（15.0%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（35.2%）が最も高く、次いで「介護老人保健施設」（17.6%）の順となっている。



## (2) 医療処置の状況

- 特養入所申込者の全体では、「あてはまるものはない」が最も高く、59.2%となっている。  
 “何らかの処置を受けている”（「あてはまるものはない」と無回答を除く）は29.7%となっている。「褥瘡（床ずれ）の処置」（9.4%）が最も高く、次いで「胃ろう・経管栄養」（6.2%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「あてはまるものはない」が最も高く、62.5%となっている。  
 “何らかの処置を受けている”は32.5%となっている。「胃ろう・経管栄養」（8.8%）が最も高く、次いで「尿管カテーテル」および「たんの吸引」（ともに5.0%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「あてはまるものはない」が最も高く、58.2%となっている。  
 “何らかの処置を受けている”は28.8%となっている。「褥瘡（床ずれ）の処置」（11.1%）が最も高く、次いで「尿管カテーテル」（6.1%）の順となっている。

（複数回答）

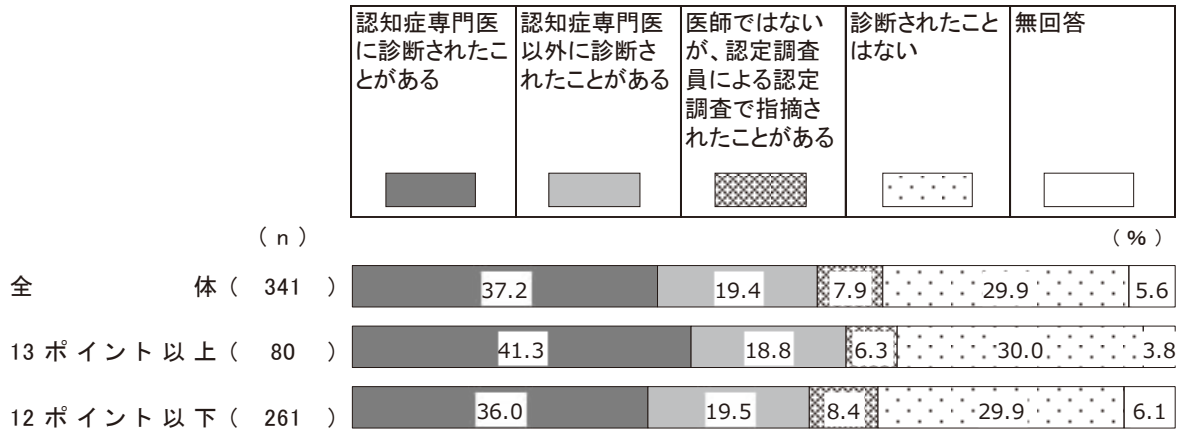


### (3) 認知症の診断状況

○特養入所申込者の全体では、「認知症専門医に診断されたことがある」(37.2%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(29.9%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「認知症専門医に診断されたことがある」(41.3%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(30.0%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「認知症専門医に診断されたことがある」(36.0%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(29.9%)の順となっている。



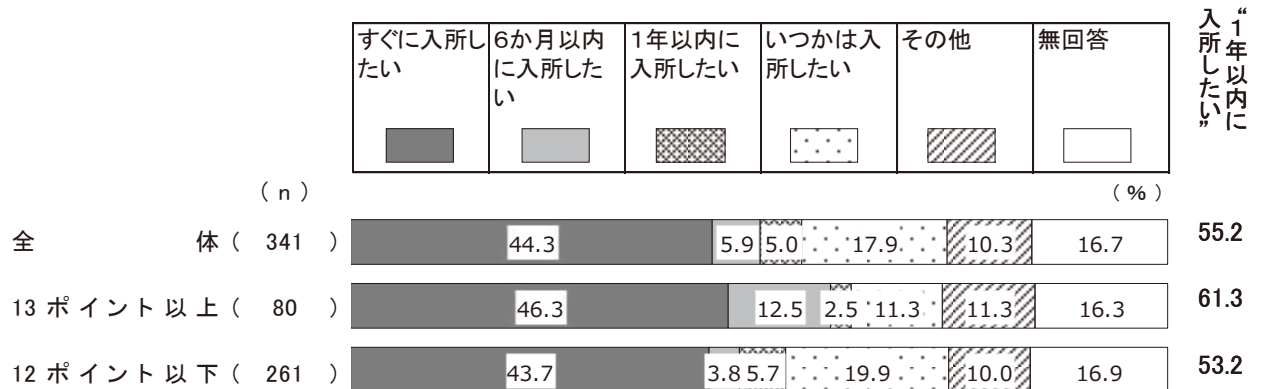
### (4) 入所の希望

#### ①入所の希望時期

○特養入所申込者の全体では、「1年以内に入所したい」(「すぐに入所したい」、「6か月以内に入所したい」、「1年以内に入所したい」の合計)が55.2%となっている。

○13ポイント以上では、「1年以内に入所したい」が61.3%となっている。

○12ポイント以下では、「1年以内に入所したい」が53.2%となっている。



#### [入所の希望時期<経年比較(特養入所申込者全体)>]

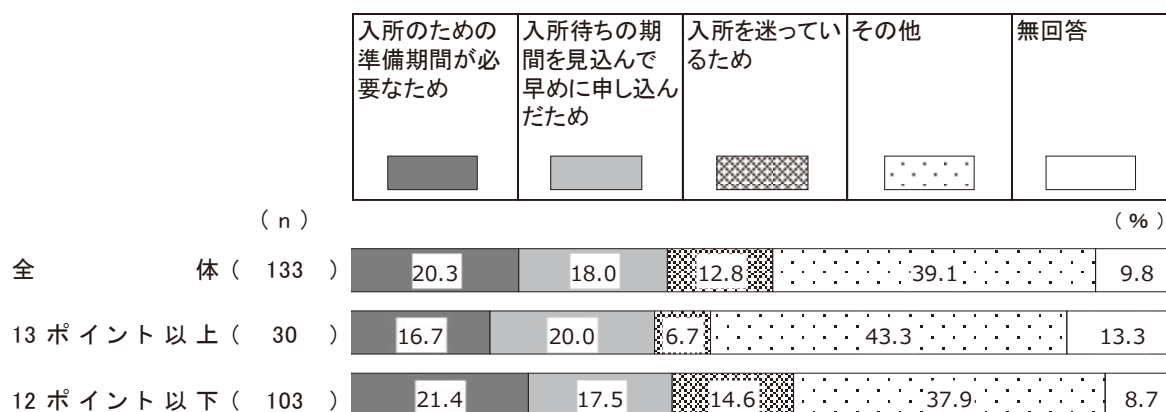
○令和4年度の調査結果と比較すると、「すぐに入所したい」が10.2ポイント高くなっている。

	n	すぐに入所したい	6か月以内に入所したい	1年以内に入所したい	いつかは入所したい	その他	無回答	1年以内に入所したい
令和7年度	341	44.3	5.9	5.0	17.9	10.3	16.7	55.2
令和4年度	311	34.1	6.8	8.4	5.1	14.5	23.8	56.6

※令和4年度には、選択肢「3か月以内に入所したい」(7.4%)がある。

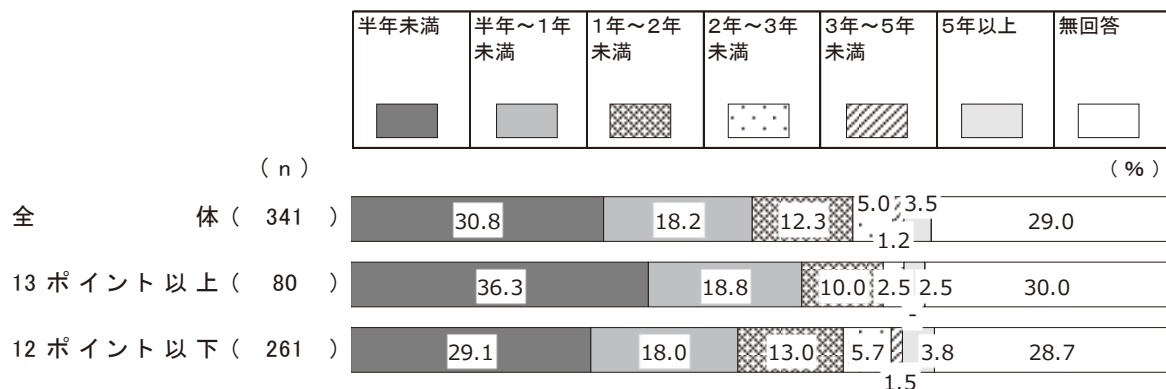
## ②早期の入所を希望しない理由

- 特養入所申込者の全体では、「入所のための準備期間が必要なため」(20.3%)が最も高く、次いで「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(18.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(20.0%)が最も高く、次いで「入所のための準備期間が必要なため」(16.7%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「入所のための準備期間が必要なため」(21.4%)が最も高く、次いで「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(17.5%)の順となっている。



## (5) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間

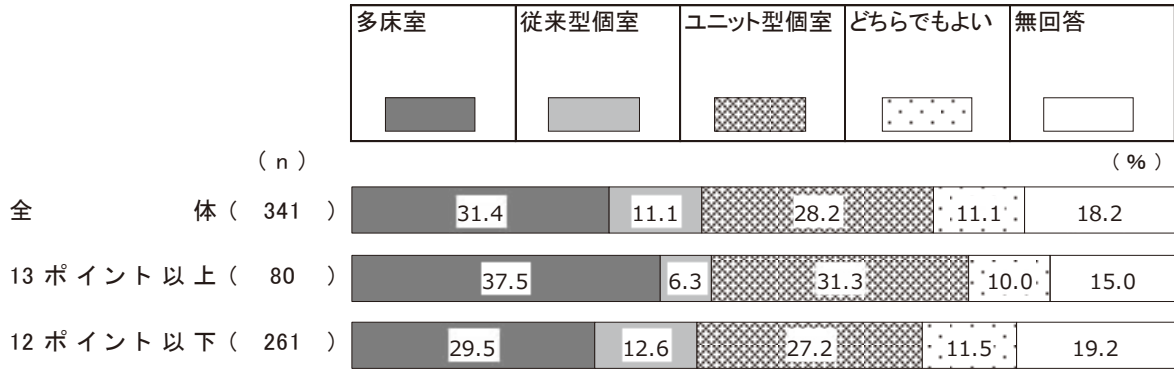
- 最初の特別養護老人ホームへの入所申込みからの経過期間は、いずれも“1年未満”(「半年未満」と「半年～1年未満」の合計)が4割から5割となっている。



## (6) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

### ①入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○いずれも「多床室」が最も高く、特養入所申込者の全体で31.4%、13ポイント以上で37.5%、12ポイント以下で29.5%となっており、次いで「ユニット型個室」がそれぞれ28.2%、31.3%、27.2%となっている。



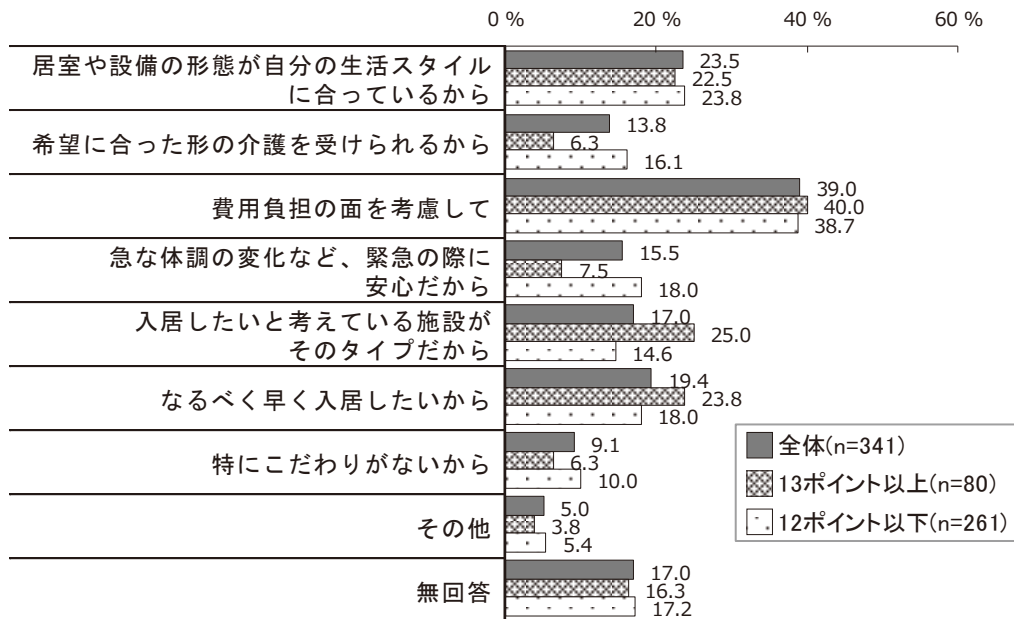
### ②入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

○特養入所申込者の全体では、「費用負担の面を考慮して」(39.0%)が最も高く、次いで「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(23.5%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「費用負担の面を考慮して」(40.0%)が最も高く、次いで「入居したいと考えている施設がそのタイプだから」(25.0%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「費用負担の面を考慮して」(38.7%)が最も高く、次いで「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(23.8%)の順となっている。

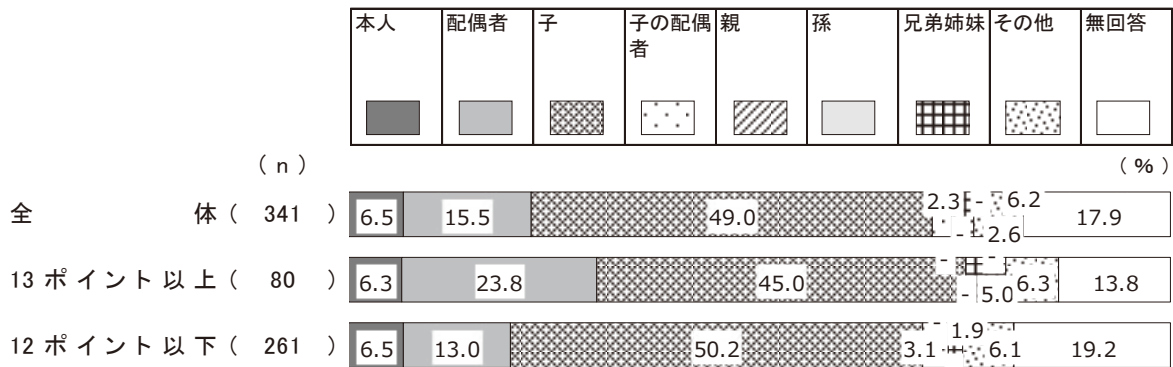
(複数回答)



## (7) 特別養護老人ホームの申込み状況

### ①申込みを決定した人

○いずれも「子」が最も高く、特養入所申込者で49.0%、13ポイント以上で45.0%、次いで「配偶者」がそれぞれ15.5%、23.8%、13.0%となっている。



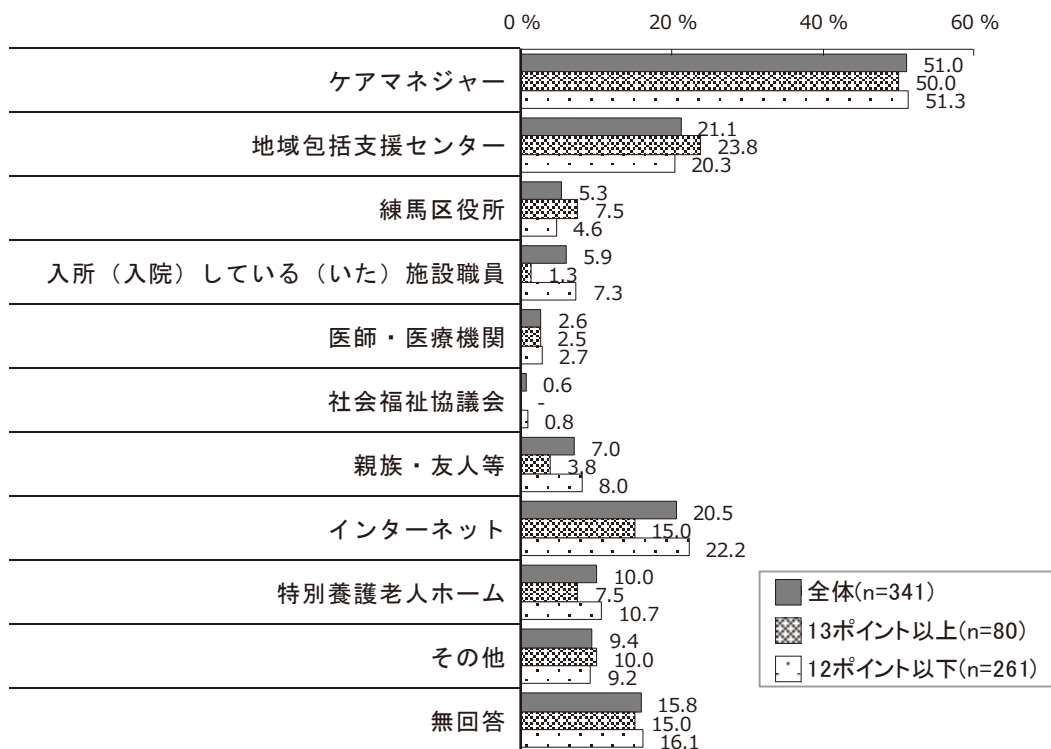
### ②入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○特養入所申込者の全体では「ケアマネジャー」(51.0%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(21.1%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「ケアマネジャー」(50.0%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(23.8%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「ケアマネジャー」(51.3%)が最も高く、次いで「インターネット」(22.2%)の順となっている。

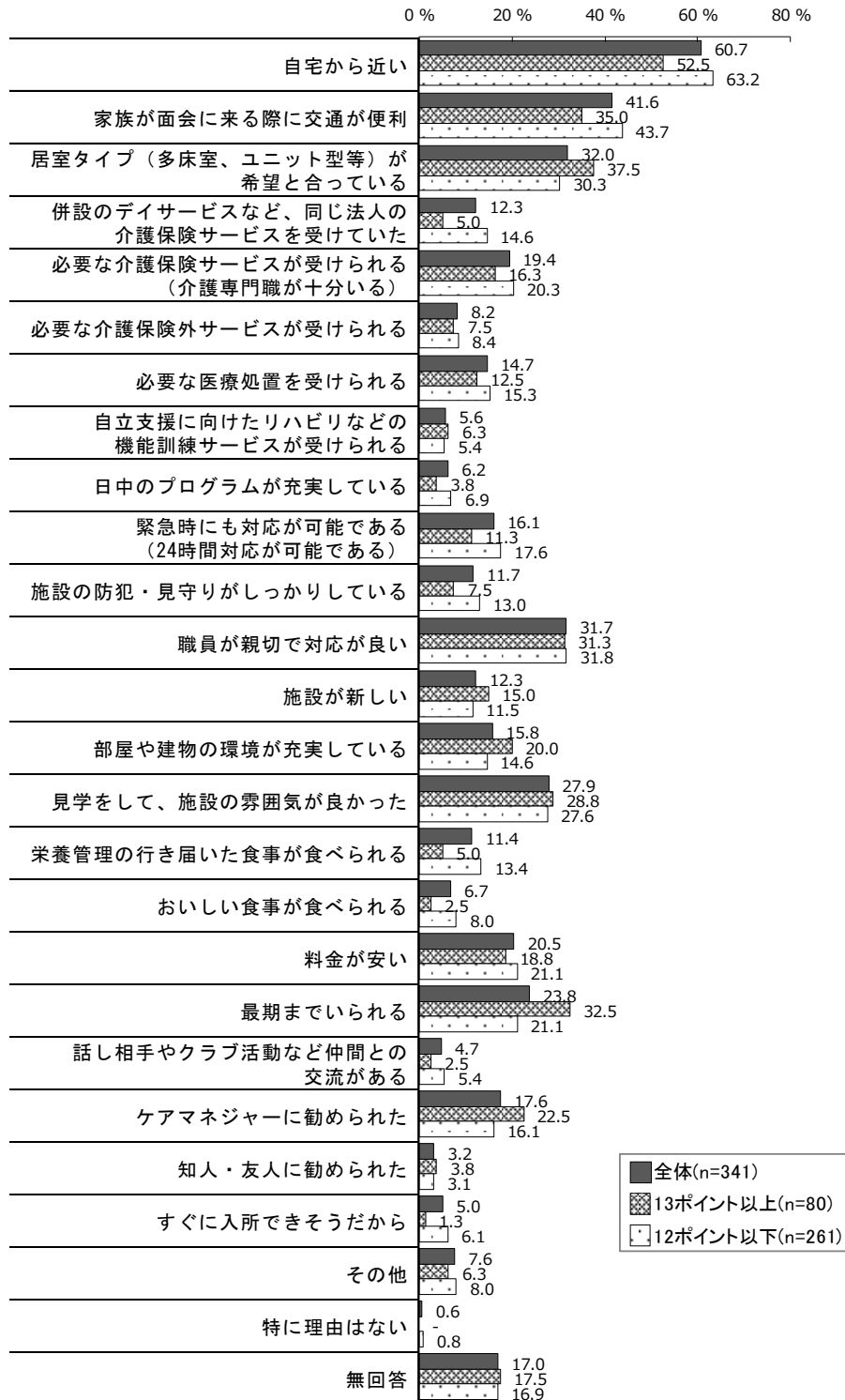
(複数回答)



### ③入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

- 特養入所申込者の全体では、「自宅から近い」(60.7%)が最も高く、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」(41.6%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「自宅から近い」(52.5%)が最も高く、次いで「居室タイプ(多床室、ユニット型等)が希望と合っている」(37.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「自宅から近い」(63.2%)が最も高く、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」(43.7%)の順となっている。

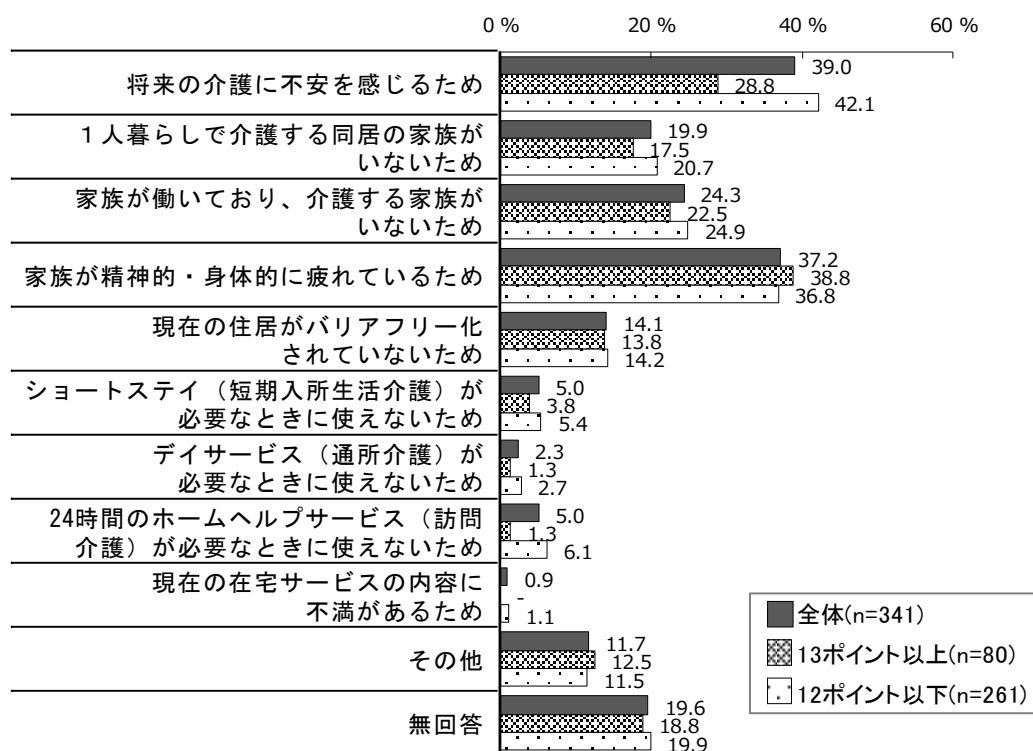
(複数回答)



#### ④特別養護老人ホームを申し込んだ理由

- 特養入所申込者の全体では、「将来の介護に不安を感じるため」(39.0%)が最も高く、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」(37.2%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(38.8%)が最も高く、次いで「将来の介護に不安を感じるため」(28.8%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「将来の介護に不安を感じるため」(42.1%)が最も高く、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」(36.8%)の順となっている。

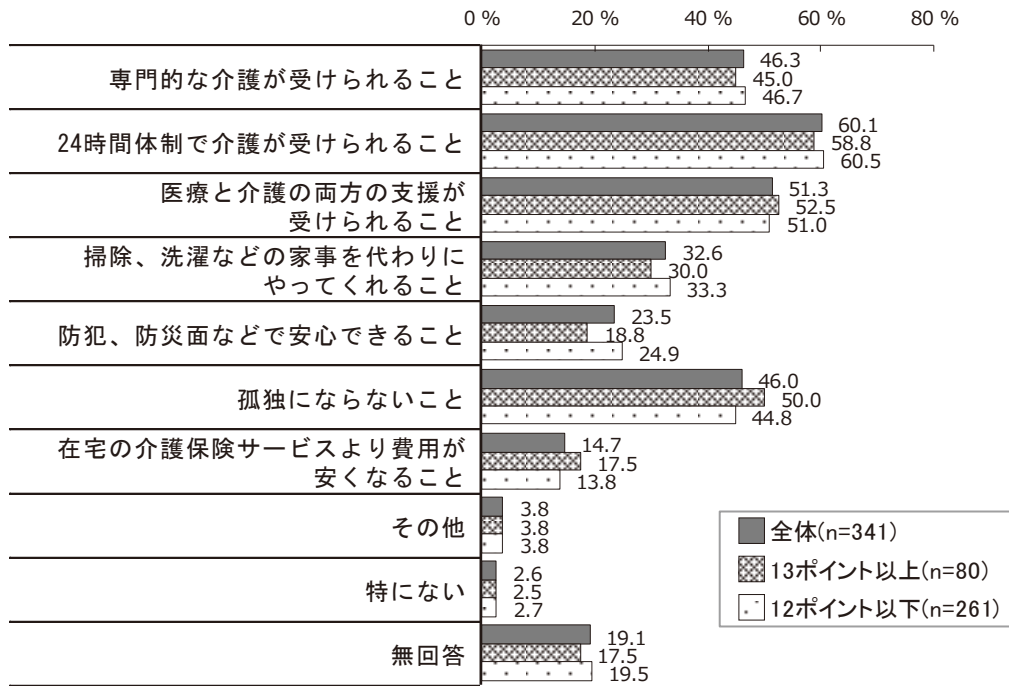
(複数回答)



### ⑤施設サービス等に期待すること

- 特養入所申込者の全体では、「24時間体制で介護が受けられること」(60.1%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(51.3%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間体制で介護が受けられること」(58.8%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(52.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間体制で介護が受けられること」(60.5%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(51.0%)順となっている。

(複数回答)



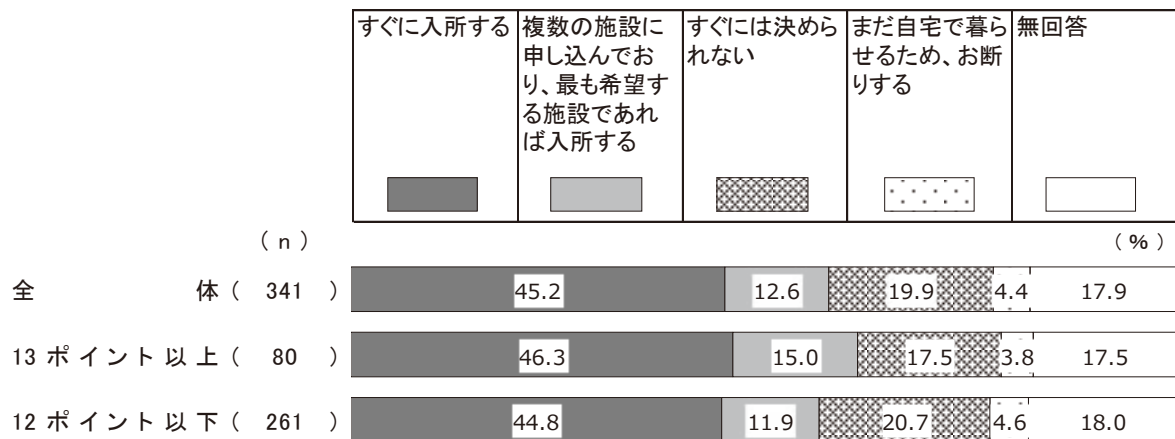
## (8) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

### ①連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、特養入所申込者の全体では、「すぐに入所する」(45.2%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”(「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」の合計)は24.3%となっている。

○13ポイント以上では、申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」(46.3%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”は21.3%となっている。

○12ポイント以下では、申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」(44.8%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”は25.3%となっている。

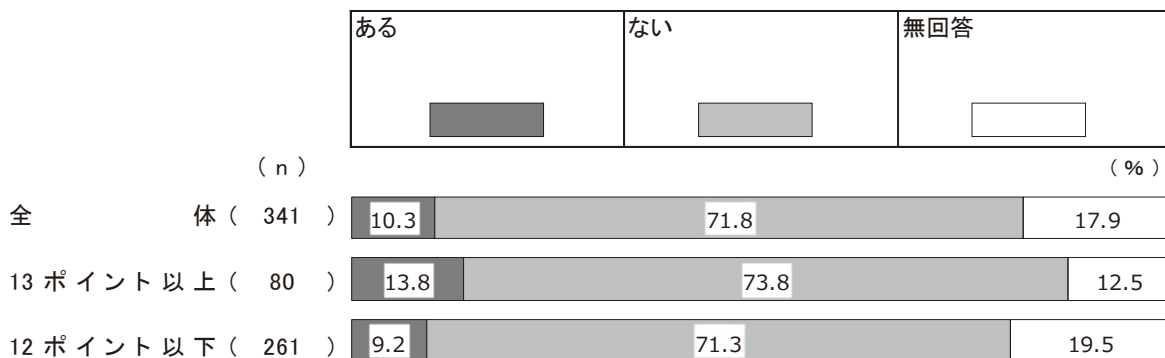


### ②入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験は、特養入所申込者の全体では、「ある」が10.3%、「ない」が71.8%となっている。

○13ポイント以上では、「ある」が13.8%、「ない」が73.8%となっている。

○12ポイント以下では、「ある」が9.2%、「ない」が71.3%となっている。

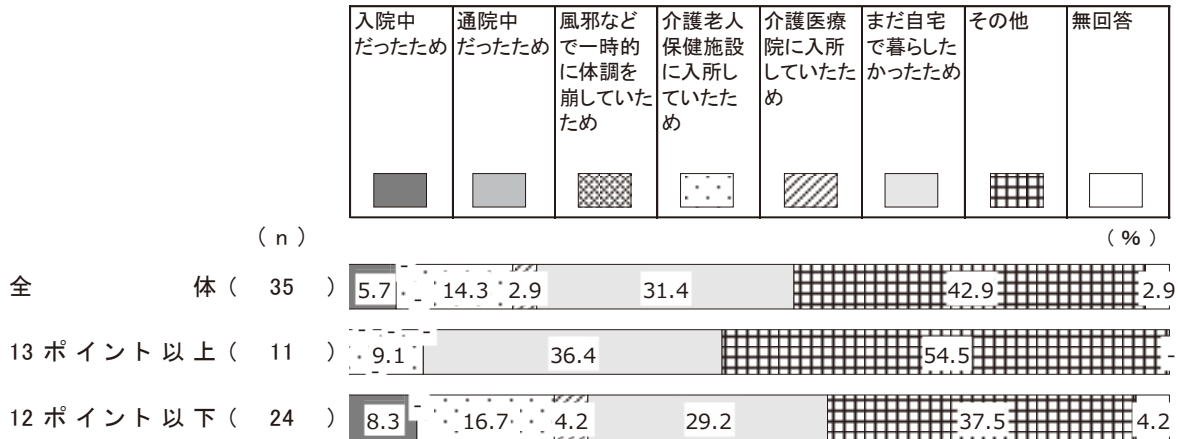


### ③辞退した理由

○入所辞退の経験が「ある」と回答した人の辞退理由は、特養入所申込者の全体では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(31.4%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(14.3%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(36.4%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(9.1%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(29.2%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(16.7%)の順となっている。



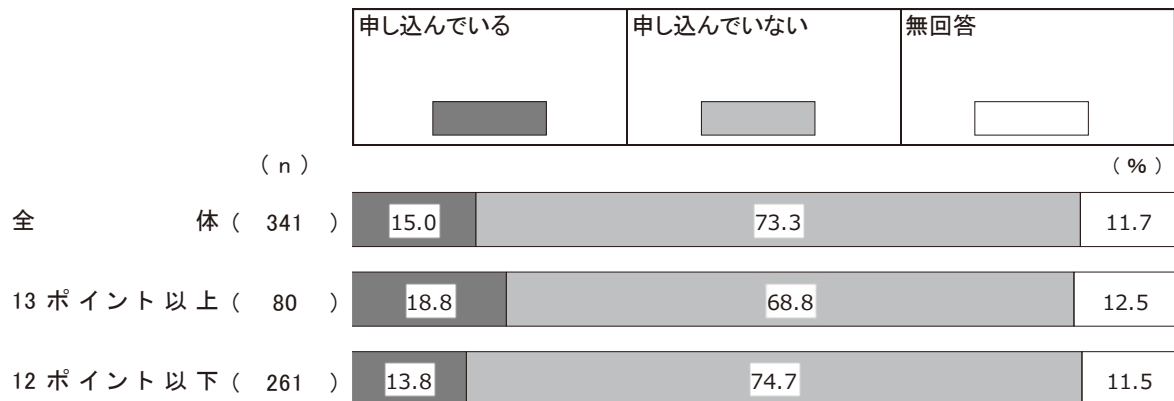
## (9) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況

### ①区外の特別養護老人ホームの入所申込みの状況

○特養入所申込者の全体では、「申し込んでいる」は15.0%、「申し込んでいない」は73.3%となっている。

○13ポイント以上では、「申し込んでいる」は18.8%、「申し込んでいない」は68.8%となっている。

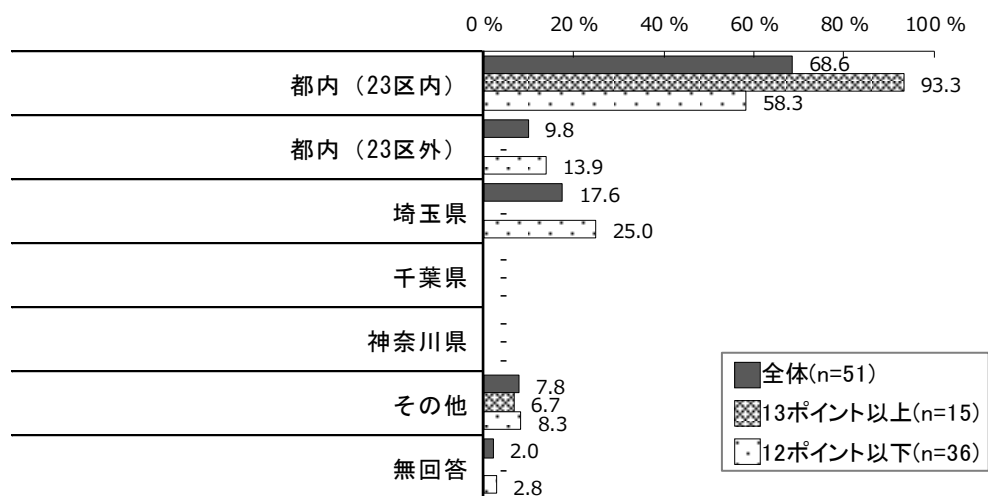
○12ポイント以下では、「申し込んでいる」は13.8%、「申し込んでいない」は74.7%となっている。



②申し込んでいる特別養護老人ホームの場所

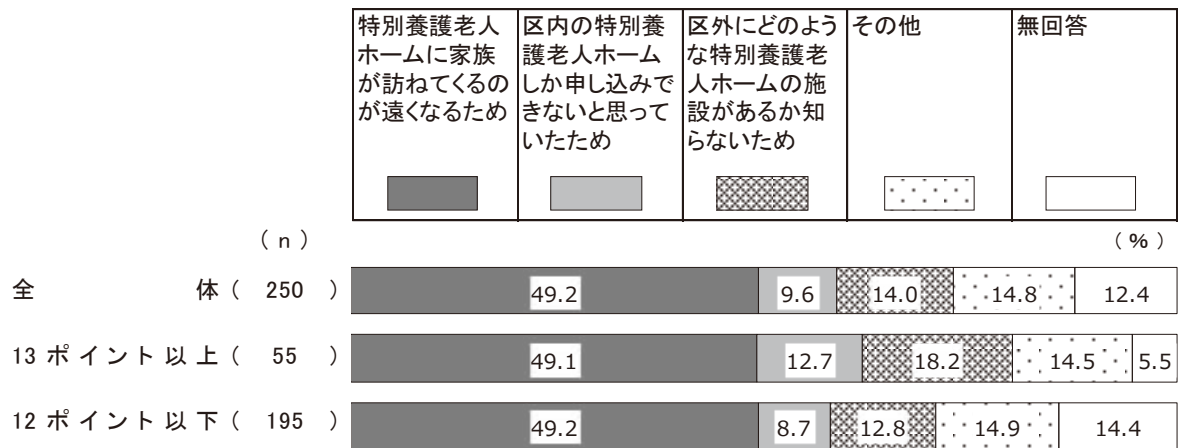
- 特養入所申込者の全体では、区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」（68.6%）が最も高く、次いで「埼玉県」（17.6%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「都内（23区内）」（93.3%）が最も高く、次いで「その他」（6.7%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「都内（23区内）」（58.3%）が最も高く、次いで「埼玉県」（25.0%）の順となっている。

（複数回答）



### ③区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、特養入所申込者の全体では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.2%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(14.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.1%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(18.2%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.2%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(12.8%)の順となっている。



## (10) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

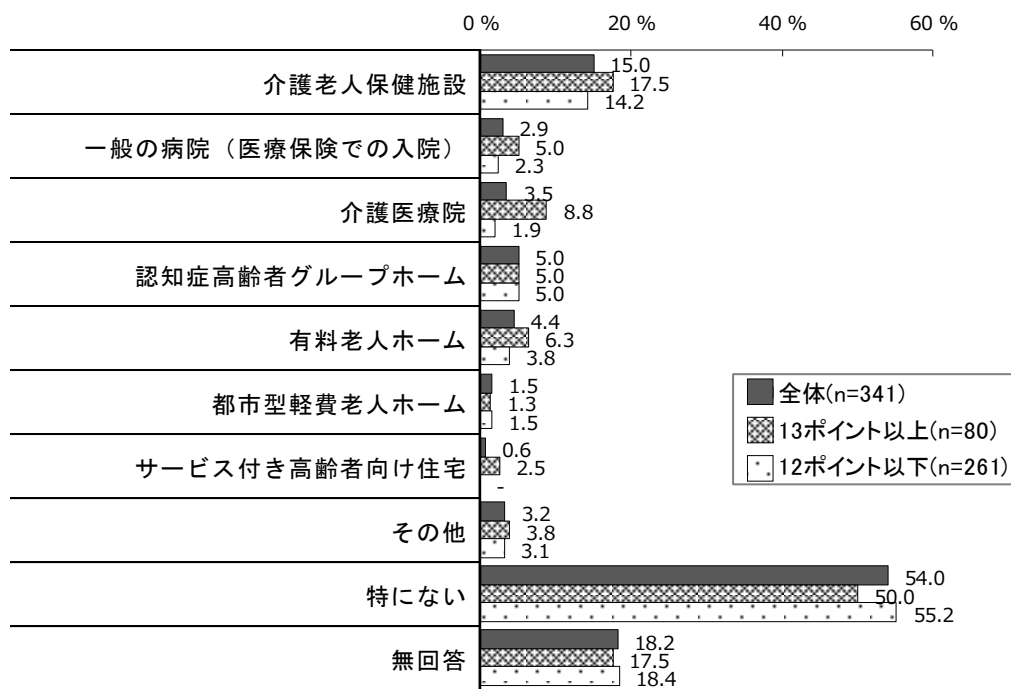
### ①特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○特養入所申込者の全体では、「特にない」(54.0%)が最も高くなっている。申込み先(「特にない」と「無回答」を除く)としては、「介護老人保健施設」(15.0%)が最も高く、次いで「認知症高齢者グループホーム」(5.0%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「特にない」(50.0%)が最も高くなっている。申込み先としては、「介護老人保健施設」(17.5%)が最も高く、次いで「介護医療院」(8.8%)の順となっている。

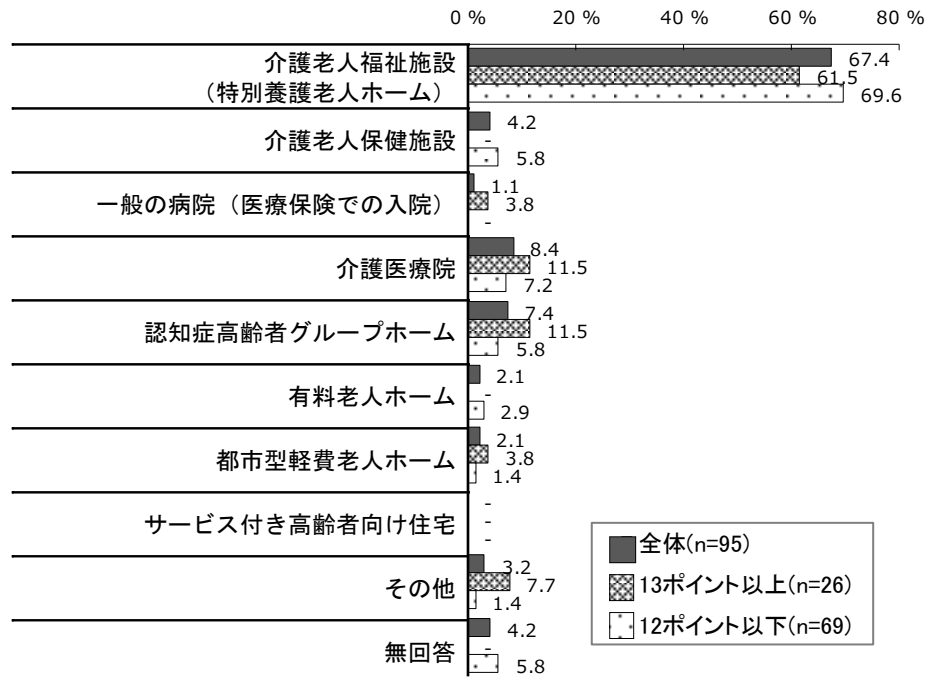
○12ポイント以下では、「特にない」(55.2%)が最も高くなっている。申込み先としては、「介護老人保健施設」(14.2%)が最も高く、次いで「認知症高齢者グループホーム」(5.0%)の順となっている。

(複数回答)



## ②入所したい施設の優先順位

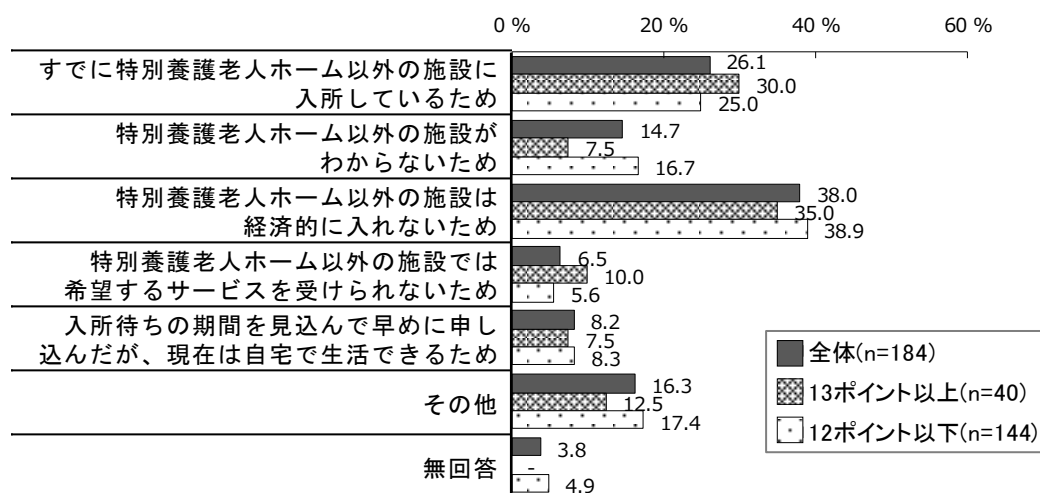
○特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設、もしくは、利用を検討している施設があると回答した人に、入所したい施設の優先順位を聞いたところ、特養入所申込者の全体では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（67.4%）が最も高く、次いで「介護医療院」（8.4%）の順となっている。



### ③特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

- 特養入所申込者の全体では、特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(38.0%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(26.1%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(35.0%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(30.0%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(38.9%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(25.0%)の順となっている。

(複数回答)



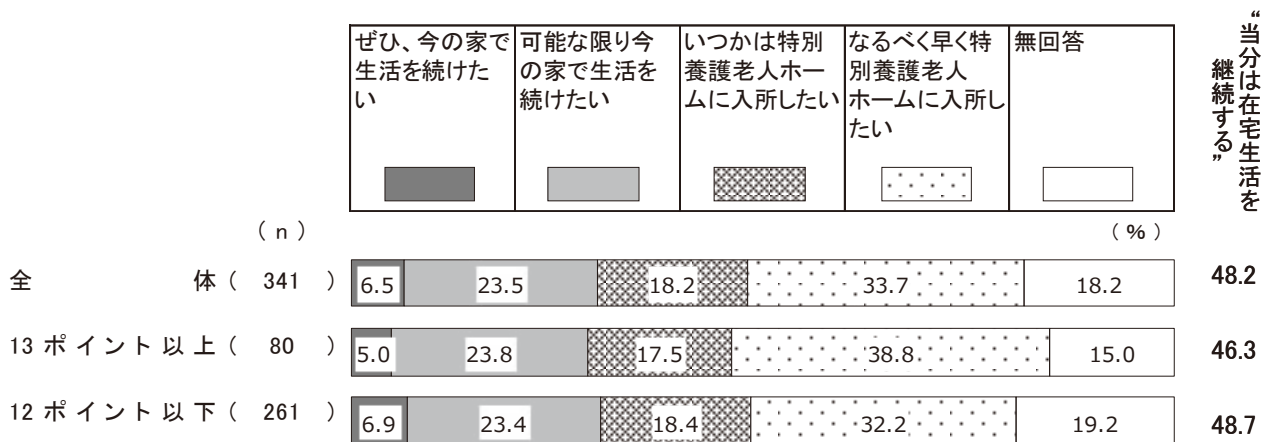
## (11) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

## ①在宅生活の継続希望

○希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込めるのであれば、自宅での生活を希望するかどうか聞いたところ、特養入所申込者の全体では、“当分は在宅生活を継続する”（「ぜひ、今の家で生活を続けたい」、「可能な限り今の家で生活を続けたい」、「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」の合計）と回答した人は48.2%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（33.7%）を上回っている。

○13ポイント以上では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人は46.3%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（38.8%）を上回っている。

○12ポイント以下では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人は48.7%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（32.2%）を上回っている。



## [在宅生活の継続希望&lt;経年比較(特養入所申込者)&gt;]

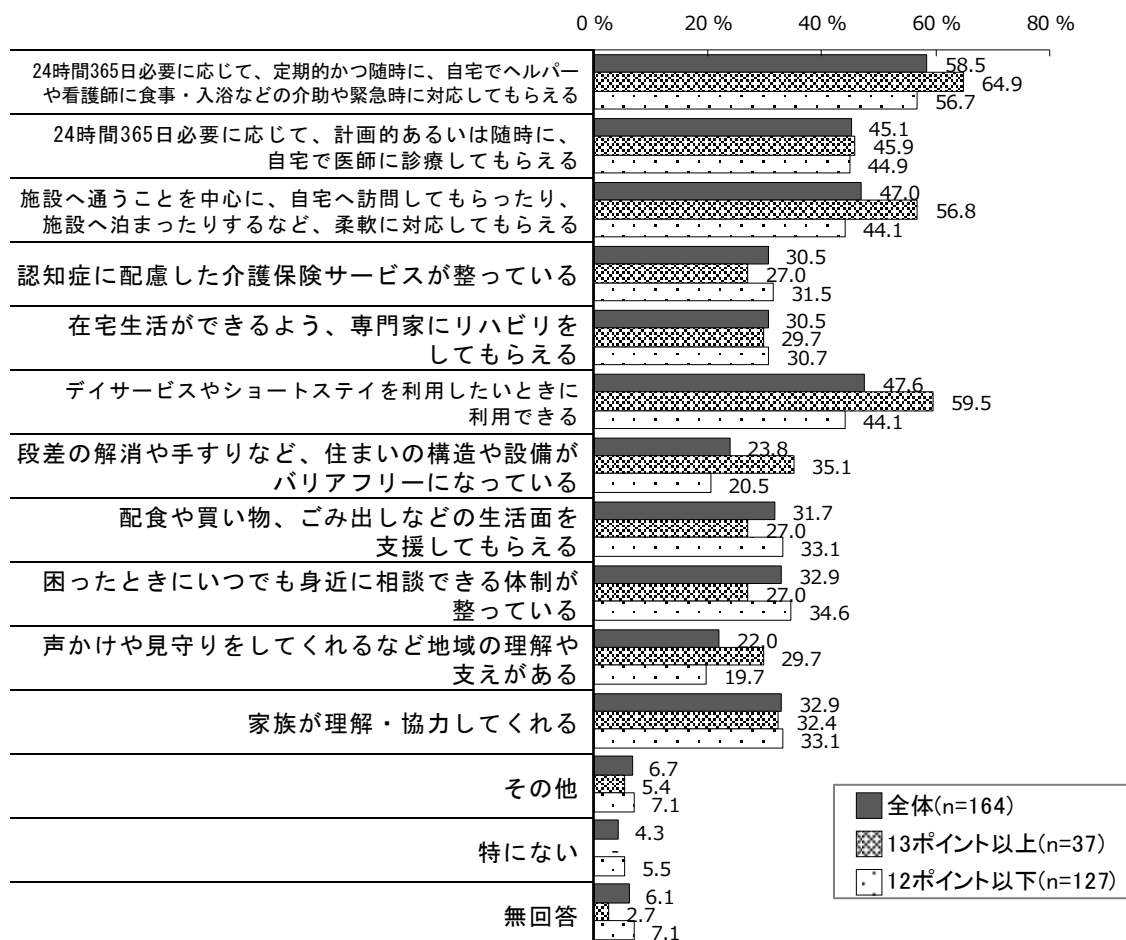
○令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

	n	ぜひ、今の家で生活を続けたい	可能な限り今の家で生活を続けたい	いつかは特別養護老人ホームに入所したい	なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい	無回答	当分は在宅生活を継続する
令和7年度	341	6.5	23.5	18.2	33.7	18.2	48.2
令和4年度	311	7.1	22.2	18.6	30.5	21.5	47.9

## ②在宅生活を継続するために必要なこと

- 特養入所申込者の全体では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人が在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(58.5%)が最も高く、次いで「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(47.6%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(64.9%)が最も高く、次いで「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(59.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(56.7%)が最も高く、次いで「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」(44.9%)の順となっている。

(複数回答)



## (12) ショートステイの利用状況

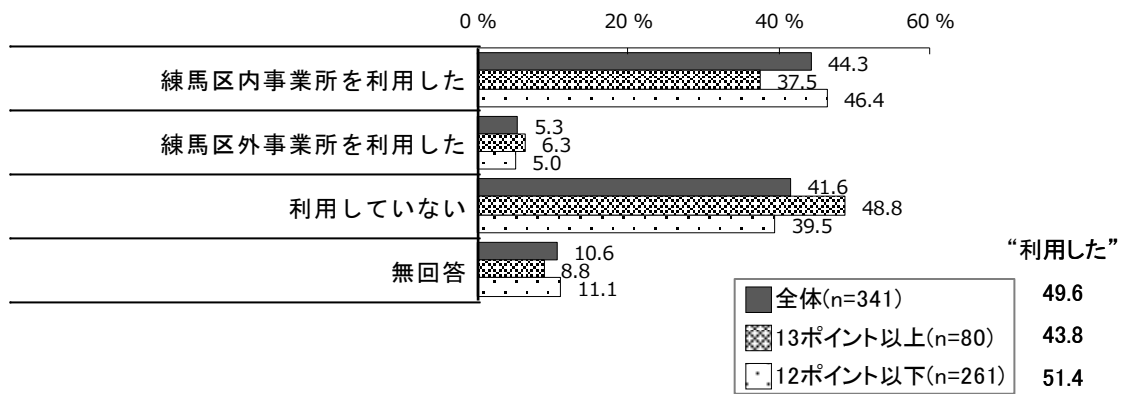
### ①過去1年間のショートステイの利用状況

○特養入所申込者の全体では、過去1年間にショートステイを“利用した”（「練馬区内事業所を利用した」と「練馬区外事業所を利用した」の合計）は49.6%で、「利用していない」の41.6%を上回っている。

○13ポイント以上では、“利用した”は43.8%で、「利用していない」の48.8%を下回っている。

○12ポイント以下では、“利用した”は51.4%で、「利用していない」の39.5%を上回っている。

(複数回答)



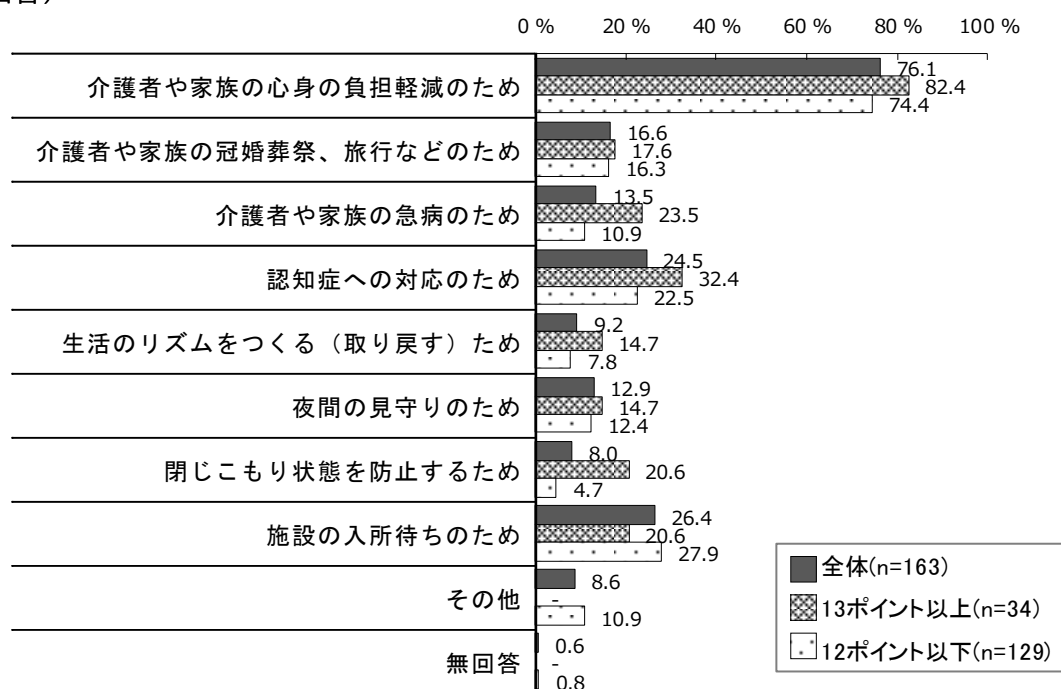
## ②ショートステイの利用目的

○特養入所申込者の全体では、過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(76.1%)が最も高く、次いで「施設の入所待ちのため」(26.4%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(82.4%)が最も高く、次いで「認知症への対応のため」(32.4%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(74.4%)が最も高く、次いで「施設の入所待ちのため」(27.9%)の順となっている。

(複数回答)

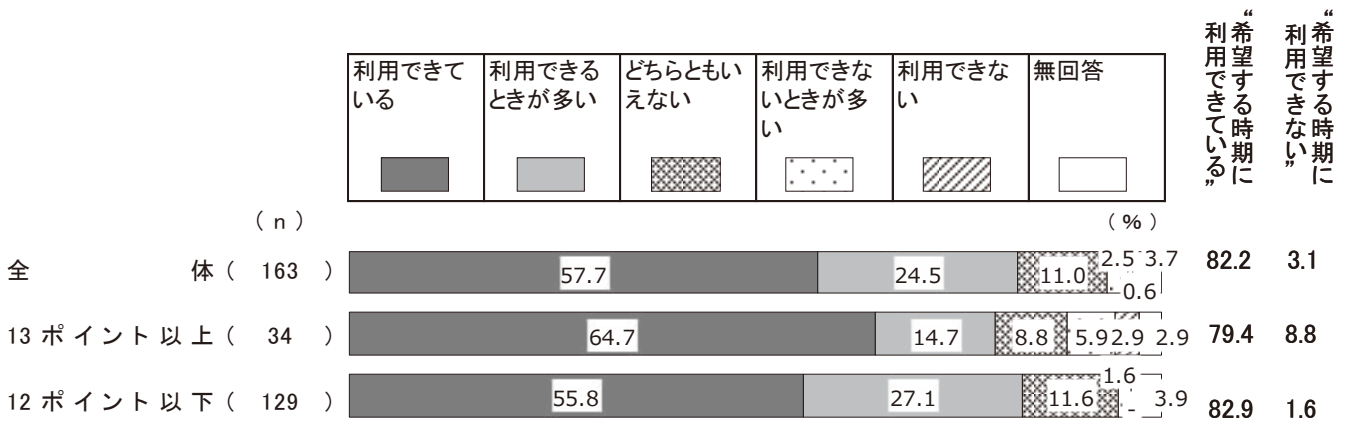


### ③希望する時期の利用状況

○過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の希望する時期の利用状況は、特養入所申込者の全体では“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が82.2%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）の3.1%を上回っている。

○13ポイント以上では“利用できる”が79.4%と、“利用できない”の8.8%を上回っている。

○12ポイント以下では“利用できる”が82.9%と、“利用できない”の1.6%を上回っている。

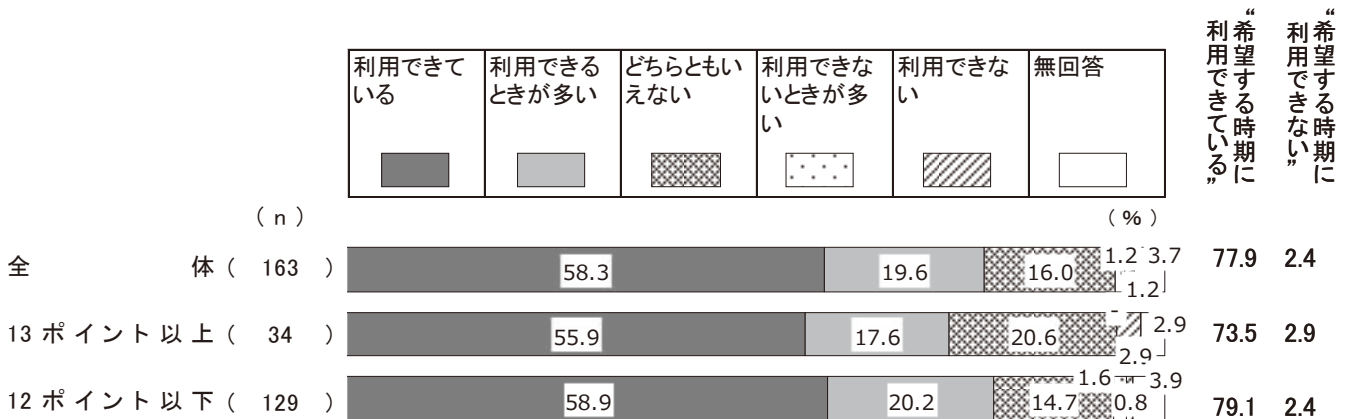


### ④希望施設の利用状況

○過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、特養入所申込者の全体では、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が77.9%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）の2.4%を上回っている。

○13ポイント以上では、“利用できる”が73.5%と、“利用できない”の2.9%を上回っている。

○12ポイント以下では、“利用できる”が79.1%と、“利用できない”の2.4%を上回っている。



⑤ショートステイを利用しなかった理由

- 特養入所申込者の全体では、「必要だと思わなかったから」(39.4%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(6.3%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「必要だと思わなかったから」(35.9%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(7.7%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「必要だと思わなかったから」(40.8%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(5.8%)の順となっている。

